

高校相撲  
金沢大会

# 東高、7年ぶり8強

## 初の北信越最優秀校 「夢」はインターハイに持ち越し



気合を入れる(左から)矢鋪、新出、山本、遠藤の各選手。石川県卯辰山相撲場

第九十回記念高校相撲金沢大会は五月二十八日、金沢市の県卯辰山相撲場で開催され、金沢学院東高校が



雨空にもめげず、最後まで声援を送る応援の生徒

1ムは、七年ぶりにベスト8に進出し、初めて北信越最優秀校となりました。全国制覇の「夢」はインターハイに持ち越しました。

予選三回戦で3勝8点を挙げて決勝トーナメントに勝ち進んだ東高校は、2回戦で樟南(鹿児島)、3回戦で鳥羽(京都)を破って8強に進出しました。しかし、準々決勝で報徳学園(兵庫)

に敗れ、初優勝の夢を断たれました。

個人戦には予選で全勝した山本、遠藤の二人が出場しましたが、いずれも2回戦で敗退しました。応援スタンドには、あいくの雨模様にも関わらず全校生徒と多数の教職員が詰めかけ、東高の選手が対戦相手を圧倒すると大きな拍手と歓声を送りました。

### 教育的愛情と専門知識を

**山岸教育長が講話**  
石川県教委の山岸勇教育長は五月十七日、金沢学院大学で教育実習生指導講話を行い、目指すべき教師像として「教育的な愛情と使命感、教養と専門的な知識を併せ持った、実力のある教師になってほしい」と述べました。昨年度の採用試験での面接、論文について、「今日的な課題を自分の問題としてとらえきれない」と指摘しました。

講話する山岸教育長



### 本学の特徴をアピール 高校教員対象に学生募集説明会



学生募集説明会で高校の進路指導教諭らを前に挨拶する宮本学園長 = 2号館の大学会議室

金沢学院大学、金沢学院短期大学の平成十九年度学生募集説明会は五月二十三日から六月一日まで、七尾、金沢、高岡、富山、福井で順次行われました。計八十八高校の進路指導教員らを対象に、本学の特徴と来年度入試の変更点などを説明しました。

五月二十五日に本学で行われた説明会では、宮本匡章学園長、石田寛人学長が弾力的な履修制度、管理栄養士を目指す短大専攻科の設置、今春の就職率の向上などを強調しました。生活デザイン学科のコース編成の変更、栄養教諭の免許についても説明しました。

### 職場仲間部門で17位

五月十四日に金沢城公園で行われた「第五回金沢城リレーマラソン」に金沢学院教職員チームが写真左に出場し、3時間12分3秒で、職場仲間部門の17位でした。参加者は次の皆さん。(1周目のリレー順)  
長尾準一郎、ゴードン・ペイトン、小林淳一、高木雅博、細川亮弥、徳田正人、萩野有希、竹内正人、奥井伸吾、福井尋一、小野澄江、望月弘、島崎外志夫、望月ゆかり、村尾直仁、長田修治



**理事長杯 竹川さん優勝**  
学園創立六十周年記念第六回理事長杯争奪ゴルフ大会は五月十五日、加賀市の片山津ゴルフ倶楽部日本海コースで行われました。持ちハンデいで競った結果、竹川武彦総合企画部主任が写真中央に、写真右二位は勝、二位は片山崇東高校教諭、同左、三位は榎田修法は榎田修法部長補佐でした。

発行・広報室